

同時市場最適化ロジック検証（2023年度）の業務委託の実施について

1. 本委託の概要

同時市場¹について詳細な検討を行うため、2023年8月に「同時市場の在り方等に関する検討会」（以下「検討会」）が設置された。検討会の検討事項のうち、電源起動・出力配分の最適化ロジック検証・シミュレーション等については、相当程度に高度な計算を行うことが想定されるため、電力広域的運営推進機関は国内研究機関等に委託を実施し、国内研究機関等の定量分析の内容について、技術有識者、市場運営者、メーカー等の視点で、第三者検証を実施することとされた。

本委託は、国内研究機関等へ電源起動・出力配分の最適化ロジック検証・シミュレーション等（2023年度分）を業務委託するものである。

2. 調達方法

(1) 調達先選定

随意契約

【理由】検討会とりまとめを来年度中旬としている限られた時間の中で、電力中央研究所が既に保有している知見・ツールを活用することにより、同時市場の最適化ロジック検証を効果・効率的に進めることができることから、「会計・調達業務の細則に関する規程」第20条第1項第2号の規定に基づき、随意契約とする。

(2) 契約予定先

一般財団法人 電力中央研究所

(3) スケジュール

2023年9月 締結予定

以上

【添付資料】

別紙1 同時市場最適化ロジック検証（2023年度）の業務委託説明書

別紙2 同時市場最適化ロジックの検証項目（2023年度）

※別紙1、別紙2は、業務規程第5条第2項第3号に掲げるもの（本機関の業務の適正な遂行に支障を及ぼすおそれのあるもの）及び情報管理規程第4条（情報の格付けの区分）の規定に基づき、外部秘に該当するため非公表とする。

¹ 過去のヒラバ議論においては、「同時市場」という単語は「売り入札の方法として Three-Part Offer（米国の PJM や NYISO、ERCOT 等において、導入されている入札手法のこと。売入札を行う者は、入札時に①起動費、②最低出力費用（無負荷費用を入札させる場合もある。）、③限界費用カーブ、の3つの情報を登録する。）を採り、kWh と ΔkW を同時に約定させる、すなわち、供給力、調整力に関わらず全ての電力を同時に約定させる仕組みの市場のこと。」という定義で使用されていたが、本検討会においては、実需給の1週間程度前から実需給までの一連の仕組み全体を指して「同時市場」と呼ぶこととされた。